

# 請 願 書

奈良市長 仲川げん 様

## 若者の個人情報を 本人の知らないところで その上、名簿にして自衛隊に渡すのはやめて下さい

奈良市はこれまで自衛隊に、「隊員に採用する適齢者（18歳、22歳）」の個人情報（住所・氏名・生年月日・性別）を、本人にも知らせず提供してきました。しかも、これまで自衛隊が市役所で住民基本台帳を閲覧して転記していたものを、今年から紙に印刷した名簿を、自衛隊に渡していることが、議会質問や、私たちの情報公開でわかりました。

市長は「個人情報を提供されたくない人は、申し出てくれたら除外する」と言いますが、これも知らない人がほとんどで、許されないことです。

市長はこの情報提供について、住民基本台帳法や自衛隊法に基づいていると言いますが、これらの法律は「提供を求めることができる」というだけで、義務付けられたものではありません。それは、全国の約4割の自治体が、今でも情報提供を拒否していることを見ればわかる話です。

日本は今、「戦争する国」に向かって突きすすんでいます。こんなことを続けていると、奈良市の若者を戦場に送り出すことになりかねません。情報提供は一切やめて下さい。

2024年 月 日

氏 名	住 所

呼びかけ団体：「私の個人情報を守って！」奈良市民の会

連絡先：奈良市花芝町25番地・なら市民の家 ✉ kojinyoho\_mamotte@outlook.jp